

調査フロー図

別紙 1

(未報告用)

START

露出部分に吹付け材が有りますか？

有り

無し

END

耐火被覆材として鉄骨の柱や梁に、また、断熱材又は吸音材として直接壁や天井に吹き付けられている可能性があります。

吹付け材の材質は？ (下記【注意】参照)

設計図書等に商品名までの記載がない場合などは、0.1%を超えてアスベストが含有しているかどうかの判断がつきませんので、専門の測定機関による材質分析が必要です。まずは建築時の工事業者や建築士等にご確認ください。

吹付けアスベスト、アスベスト含有吹付け材 又は 折板裏打ち石綿断熱材 などのアスベスト含有吹付け材

6種類全てのアスベストが含まれていない

END

材質が不明 (3種類のみ分析調査済みの場合も含む)

6種類の分析調査の予定を立ててください。
市の補助制度があります。詳しくは別紙リーフレットをご確認ください。

材質不明であっても、以下の質問については、吹付けアスベスト等であった場合を想定してご回答下さい。

表面の毛羽立ち、繊維のくずれ、垂れ下がり、下地との間の浮き、はがれ、床面に破片が頻繁に見られる等をポイントにご確認ください。

吹付け材に損傷等有りますか？

有り

無し

飛散防止対策は？

除去・封じ込め・囲込みのいずれか

対策済

END

未対応

損傷や不用意な除去等を行わない様注意してください！

損傷等がある場合は、すみやかに飛散防止措置を講じてください！
損傷等がない場合も、適切な飛散防止措置を講じる様お願いします。
市の補助制度があります。詳しくは別紙リーフレットをご確認ください。

【注意】

含有率 1%超 0.1%超に改正

建材に含まれるアスベストの種類は ~ が主とされていましたが、 ~ も調査しないと材質不明扱いとなります。

今まで使用されたとされる3種類

クリソタイル クロシドライト アモサイト

後に使用が確認された3種類

アンソフィライト トレモライト アクチノライト